

令和6年度 ふくい理数グランプリ（高校部門）実施要項

1 目的

- (1) 授業で学習したことをベースに、実生活に関連した課題に取り組むことによって、数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起するとともに、科学的な思考力・判断力・表現力等を育成し、理数的能力の向上を図る。
- (2) 課題に取り組みながら、科学の面白さや考える楽しさを感じる場とし、国際科学オリンピック大会やその国内予選大会などへの参加の契機とする。

2 主催 福井県教育委員会

3 共催 福井県高等学校教育研究会数学部会 福井県高等学校教育研究会理科部会

4 応援企業

清川メッキ工業株式会社
株式会社 AZWAY 株式会社 secret place 株式会社 VALUE FIRST
株式会社 ビートレーディング 株式会社 ピコラボ
株式会社 LIFRELL lifrell.inc ブルースタイル沖縄株式会社

5 実施内容

(1) 数学グランプリ

- ア 原則として3人1組でチームをつくり、チャレンジステージとグランプリ本選を行う。
- イ 参加チーム多数の場合は、チャレンジステージでグランプリ本選の参加チームを選抜する場合がある。
- ウ チャレンジステージでは、チームの3人がそれぞれに取り組む筆記問題を出題する。
- エ グランプリ本選では、生活・実社会と関連する内容を題材に、課題を正しく理解する読解力、課題を解決する過程における創造力や直感力、論理的思考力を高める問題を出題する。3人1組のチームで問題に取り組み、チームワーク、考察・発表の論理性、プレゼンテーションの能力等を総合的に評価する。
- オ チャレンジステージに限り、個人でも参加することができる。

(2) 物理グランプリ、化学グランプリ、生物グランプリ、地学グランプリ

- ア 3人1組でチームをつくり、チャレンジステージとグランプリ本選を行う。
- イ 参加チーム多数の場合は、チャレンジステージでグランプリ本選の参加チームを選抜する場合がある。
- ウ チャレンジステージでは、講義とそれに関する問題に取り組む。チームの3人がそれぞれまたはチームで取り組む問題を出題する。
- エ グランプリ本選では、実生活・実社会と関連する内容を題材に、観察・実験を行う問題を出題する。3人1組のチームで問題に取り組み、観察・実験のチームワーク、結果の整理と考察、発表の論理性、プレゼンテーションの能力等を総合的に評価する。

6 日程

8月23日(金) 福井工業大学 学園本部福井キャンパス

理数グランプリ	理数グランプリチャレンジステージ
10:00~10:20	受付 それぞれの会場前にて 数学G 704室(2号館7階) 801室、802室(2号館8階) 物理G 504室(2号館5階) 化学G 601室(2号館6階) 生物G 805室(1号館8階) 地学G 602室(2号館5階)
10:20~10:30	挨拶 諸連絡
10:30~12:20	チャレンジステージ
12:20~12:30	講評 諸連絡 アンケート 生徒解散

※ 10:20~12:30 の時間配分については、各グランプリによって変更あり

7 会場 福井工業大学 学園本部福井キャンパス 1号館、2号館

事務局室	51室(2号館5階)
引率者等控室	52室(2号館5階)
数学グランプリ	704室(2号館7階)、801室、802室(2号館8階)
物理グランプリ	504室(2号館5階)
化学グランプリ	601室(2号館6階)
生物グランプリ	805室(1号館8階)
地学グランプリ	602室(2号館6階)

8 参加予定 18校

理科 計125チーム 参加者数 374人
 数学 89チーム 参加者数 254人

9 グランプリ本選出場者の選抜について

- ・数学グランプリは89チーム中、10チーム程度がグランプリ本選へ進出する。
- ・物理グランプリは35チーム中、10チーム程度がグランプリ本選へ進出する。
- ・化学グランプリは33チーム中、10チーム程度がグランプリ本選へ進出する。
- ・生物グランプリは33チーム中、10チーム程度がグランプリ本選へ進出する。
- ・地学グランプリは24チーム中、10チーム程度がグランプリ本選へ進出する。